

令和3年度
「国内における温室効果ガス排出削減・吸収量認証制度の実施委託費
(J-クレジット制度推進のための地域支援事業 東北経済産業局)」

報告書

令和4年3月

経済産業省東北経済産業局
委託先 カーボンフリーコンサルティング株式会社

目 次

1. 業務概要	1
(1) 業務名	1
(2) 履行期限	1
(3) 発注者及び受注者	1
(4) 業務目的	1
(5) 委託内容	1
2. J-クレジット認証支援	2
(1) 福島サンケン株式会社	2
3. J-クレジット制度説明会の実施	3
(1) 第1回 J-クレジット制度説明会	3
(2) 第2回 J-クレジット制度説明会	5
(3) 第3回 J-クレジット制度説明会	6
4. 地域ネットワーク会議の開催	7
5. クレジット創出及び活用先の開拓	8
(1) 創出支援	8
(2) 活用先の開拓	8
① 東北地域内での活用実績	9
② 東北地域外での活用実績	11
③ カーボン・オフセット証明書の発行	17
④ 東北地域カーボン・オフセットグランプリ	18
6. 活用事例集の作成	20
7. 東北地域 J-クレジットチャンネルの開設	21
8. 総括	22
(1) 国内外における脱炭素制度への対応について	22
① RE100 参加企業の増加	22
② CDP の対象企業の枠が拡大	23
③ SBT の認定条件が改正	23
④ TCFD にそった情報開示の義務化	23
(2) J-クレジットの役割と展望	24

資料編	25
1. J-クレジット東北地域推進協議会設置要領	26
2. 東北地域カーボン・オフセットグランプリ公募要領	29
(1) 東北地域カーボン・オフセットグランプリ応募申請書〈自薦用〉	32
(2) 東北地域カーボン・オフセットグランプリ応募申請書〈他薦用〉	36
(3) 令和3年度東北地域カーボン・オフセットグランプリ受賞団体取組概要	40

1. 業務概要

本業務は、東北経済産業局の委託するJ-クレジット制度推進のための地域支援事業であり、カーボンフリーコンサルティング株式会社が以下の業務を実施した。

(1) 業務名

令和3年度「国内における温室効果ガス排出削減・吸収量認証制度の実施委託費
(J-クレジット制度推進のための地域支援事業 東北経済産業局)」

(2) 履行期限

令和3年9月22日～令和4年3月31日

(3) 発注者及び受注者

ア 発注者：東北経済産業局

イ 受注者：カーボンフリーコンサルティング株式会社

(4) 業務目的

本事業では、J-クレジット制度の一層の普及啓発を図り、東北地域の活性化に資する持続可能なカーボン・オフセットの取組を拡大させることを目的とする。

(5) 委託内容

ア J-クレジット認証支援

J-クレジットを使った地域活性化に繋がる案件に対し、モニタリング報告書作成支援を実施する。地域活性化とは、クレジットの取引により需給双方が定量的な要素以外にも地域の経済や環境に貢献するものとする。

イ J-クレジット制度説明会の実施

J-クレジット制度の認知度向上を目的とした説明会を開催し、制度の概要や最新情報、地域で実施された活用及び創出事例の紹介を行う。開催にあたり効果的な集客の観点から、社会的に関心の高く、かつJ-クレジットと関連性のあるテーマとして省エネ系補助金制度やSDGsの講演などを含めて開催する。

ウ 地域ネットワーク会議の開催

当局がJ-クレジット制度の活用を図り東北地域における温室効果ガスの排出削減に資するために設置した「J-クレジット東北地域推進協議会」の会員が参加する地域ネットワーク会議を開催する。具体的には、世界および国内における気候変動対策における動向（RE100、SBT、SDGs など）や、各種制度におけるJ-クレジットの需要動向を情報提供し、J-クレジットの供給量拡大に向けた検討・意見交換等を行う。

なお、協議会員のほかに、J-クレジットの普及に関連性のある団体等へも参加を促す。

エ クレジット創出及び活用先の開拓

様々な地域や業種で展開が可能となる汎用性の高い取組みを目指すため、東北地域で産出される企業等のクレジットの創出及びその活用先を広く開拓する。

具体的には、企業等が行う地域活性化に繋がるクレジットの創出について、プロジェクト発掘支援やプロジェクト計画書の作成支援を行う。

また、企業等が行う地域活性化に繋がるクレジットの活用について、カーボン・オフセット等の需要の掘り起こしを行う。

また、「J-クレジット東北地域推進協議会」が主催する「東北地域カーボン・オフセットグランプリ」※の表彰に関する事務を行う。

※「東北地域カーボン・オフセットグランプリ」は、カーボン・オフセットの普及や理解促進を目的とし、モデル性の高い優良なカーボン・オフセットの取組を実施した団体を表彰するもの。

オ 活用事例集の作成

更なるJ-クレジット制度の周知のため、制度概要及び過去5年間(2015～2020年)に東北地域に関連した取組で優良な事例を分かりやすく紹介した企業等向けの事例集を作成する。

2. J-クレジット認証支援

本業務では、J-クレジットを用いて地域活性化に繋げるような案件を支援するため、福島サンケン株式会社に対してプロジェクト認証申請書作成等の支援を行った。福島サンケン株式会社の他、再エネ系クレジット創出で有限会社川原商会、森林系クレジット創出で有限会社谷地林業、省エネ系クレジット創出で株式会社ネクシィーズ、株式会社山宝商会から相談を受け、打ち合わせを行ったが新規認証支援には至らなかった。

(1) 福島サンケン株式会社

福島サンケン株式会社では、2020年11月から予想発電量 18万 kWh の太陽光発電を導入しており、その環境価値をJ-クレジット化するため、プロジェクト認証申請を支援した。今年度はプロジェクト認証申請支援まで行い、次年度以降、モニタリング報告書作成支援、審査機関によるモニタリング報告書の検証、クレジット認証となる予定である。

ア プロジェクト登録申請日：2022年1月10日

イ プロジェクト実施場所：福島県二本松市

ウ プロジェクト概要：電子デバイス製造工場における太陽光発電設備の導入

エ 年間創出予定量：137t-CO2/年

プロジェクト番号	登録申請日	プロジェクト実施者・法人番号	プロジェクト実施場所	クレジット取得予定者・法人番号	プロジェクト概要	認証期間の開始日	適用方法論	関係書類
279	2022/01/10	福島サンケン株式会社 9380001009465	福島県二本松市	-	電子デバイス製造工場における太陽光発電設備の導入	2022/03/01	EN-R-002Ver 2.2	プロジェクト計画書 妥当性確認報告書

J-クレジット制度 HP より

認証対象期間 ※1	2022/4/1 ~		2030/3/31		8.0年	
	年度	ベースライン 排出量	プロジェクト 実施後排出量		排出削減量	
排出削減計画 ※2	2013年度	0.0 t-CO2	0.0 t-CO2	0.0 t-CO2	0 t-CO2	
	2014年度	0.0 t-CO2	0.0 t-CO2	0.0 t-CO2	0 t-CO2	
	2015年度	0.0 t-CO2	0.0 t-CO2	0.0 t-CO2	0 t-CO2	
	2016年度	0.0 t-CO2	0.0 t-CO2	0.0 t-CO2	0 t-CO2	
	2017年度	0.0 t-CO2	0.0 t-CO2	0.0 t-CO2	0 t-CO2	
	2018年度	0.0 t-CO2	0.0 t-CO2	0.0 t-CO2	0 t-CO2	
	2019年度	0.0 t-CO2	0.0 t-CO2	0.0 t-CO2	0 t-CO2	
	2020年度	0.0 t-CO2	0.0 t-CO2	0.0 t-CO2	0 t-CO2	
	2021年度	0.0 t-CO2	0.0 t-CO2	0.0 t-CO2	0 t-CO2	
	2022年度	137.1 t-CO2	0.0 t-CO2	137.1 t-CO2	137 t-CO2	
	2023年度	137.1 t-CO2	0.0 t-CO2	137.1 t-CO2	137 t-CO2	
	2024年度	137.1 t-CO2	0.0 t-CO2	137.1 t-CO2	137 t-CO2	
	2025年度	137.1 t-CO2	0.0 t-CO2	137.1 t-CO2	137 t-CO2	
	2026年度	137.1 t-CO2	0.0 t-CO2	137.1 t-CO2	137 t-CO2	
	2027年度	137.1 t-CO2	0.0 t-CO2	137.1 t-CO2	137 t-CO2	
	2028年度	137.1 t-CO2	0.0 t-CO2	137.1 t-CO2	137 t-CO2	
	2029年度	137.1 t-CO2	0.0 t-CO2	137.1 t-CO2	137 t-CO2	
	2030年度	0.0 t-CO2	0.0 t-CO2	0.0 t-CO2	0 t-CO2	
合計	1,096.8 t-CO2	0.0 t-CO2	1,096.8 t-CO2	1,096.0 t-CO2		

表 1 福島サンケン株式会社のクレジット創出予定量

3. J-クレジット制度説明会の実施

本業務では、J-クレジット制度の認知度向上を目的とする説明会を全3回開催した。初回は仙台会場にて来場とオンラインの併用にて行い、第2回および第3回は新型コロナウイルス感染症蔓延の状況に鑑み、オンラインのみで運営した。第1回の参加者は来場者7名、オンライン191名の合計198名、第2回は142名、第3回は53名の参加となった。募集要領の50名程度の目標に対し、大幅な増加となった。その要因に関しては、感染症の影響による来場リスクに加え、ウェビナースタイルの定着と専門講師の説明会にクリック一つで参加できる手軽さが功を奏したと考える。オンライン開催は制度を身近に感じてもらうためには有効な手段である。

また、次年度への課題として、セミナー動画をYouTubeにアップロードし、いつでも閲覧可能にするなどの手法が検討される。

(1) 第1回 J-クレジット制度説明会

第1回目は、仙台市内の会場で開催し、同時にオンラインでも参加できるようにした。J-クレジット制度事務局より1名講師をお招きし基本的な制度について講演いただいた。また、製造業の企業実例紹介として株式会社アツミテック、斉藤商事株式会社にも具体的な制度活用の取組について紹介いただいた。製造業のうち、中小企業は取引先である大手企業からも脱炭素について具体的策を求められるケースが多くなっていることから、参加者の増加につながったと考えられる。

最後に弊社池田によるSDGs経営のためのJ-クレジット活用に関する講演を交え、J-クレジット制度を活用するメリットを前面に打ち出し、その活用を促進する内容とした。

■ 議事概要

- ・ タイトル：J-クレジット制度・活用セミナー2021 in 仙台
～制度の利用促進と活用事例の紹介～
- ・ 日時：令和3年11月26日（金）13：30～16：00
- ・ 場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口およびオンライン形式
 - ・ 議題1.
J-クレジットの活用～カーボンニュートラルに向けた中小企業の手段とは～
J-クレジット制度事務局 みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 加藤史浩様
 - ・ 議題2.
SDGs 経営とJ-クレジット制度の活用
カーボンフリーコンサルティング株式会社 国内事業本部長 池田 陸郎
 - ・ 議題3. ① 企業事例紹介
株式会社アツミテック『低炭素社会実現に向けたJ-クレジットの活用』
事業管理本部 人事管理部 安全環境ブロック 技術主任 豊田 翔吾 様
 - ・ 議題3. ② 企業事例紹介
斉藤商事株式会社『未来を語る企業である為に』
～カーボンオフセット付ユニフォームの取り組みからSDGsへ～
代表取締役 尾島 敏也 様

J-クレジット制度・活用セミナー2021in 仙台 ～制度の利用促進と活用事例の紹介～

経済産業省、環境省及び農林水産省が運用するJ-クレジット制度は、「省エネルギー設備の導入」や「森林経営」などの取組による、温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。認証されたクレジットは購入ことができ、カーボン・オフセットなど地球温暖化対策へ貢献するなどの用途に活用されています。

このたびは東北経済産業局では、J-クレジット制度の普及・活用促進を目的に「J-クレジット制度・活用セミナー2021in 仙台」を開催いたします。

本セミナーでは、J-クレジット制度や制度の活用について御説明するとともに、東北産のクレジットの活用事例として、株式会社アツミテック様（静岡県浜松市）及び斉藤商事株式会社様（埼玉県富士見市）の事例を御紹介いたします。

皆様のお参加をお待ちしております。

日時： 令和3年11月26日（金）13：30～16：00（13：00開場）

会場： TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口
（オンライン同時開催）

対象： J-クレジット制度の活用・J-クレジット創出に関心のある団体、
企業、自治体

定員： 会場30名（先着順）、オンライン参加（人数制限なし）

主催： 経済産業省東北経済産業局

プログラム

1. J-クレジットの活用

～カーボンニュートラルに向けた中小企業の手段とは～

<J-クレジット制度事務局 みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 加藤 史浩 様>

2. SDGs経営とJ-クレジット制度の活用

<J-クレジット東北地域推進協議会事務局 カーボンフリーコンサルティング株式会社

国内事業本部長 池田 陸郎>

3. ① 企業事例紹介：株式会社アツミテック

『低炭素社会実現に向けたJ-クレジットの活用』

<事業管理本部 人事管理部 安全環境ブロック 技術主任 豊田 翔吾 様>

わたしたちアツミテックは自動車、オートバイ等の変速機に使用する部品の開発、設計、生産、製造を行っております。社会および顧客のニーズに合わせた自社の環境目標を掲げCO2低減を展開しております。

② 企業事例紹介：斉藤商事株式会社

『未来を語る企業である為に』

～カーボンオフセット付ユニフォームの取り組みからSDGsへ～

<代表取締役 尾島 敏也 様>

斉藤商事は、環境を意識した企業向けユニフォーム・イベントなどのチームウェアを企画・製造・販売しております。ご提案から物流までの一貫管理でお客様の「欲しい」を全面的にサポート致します。

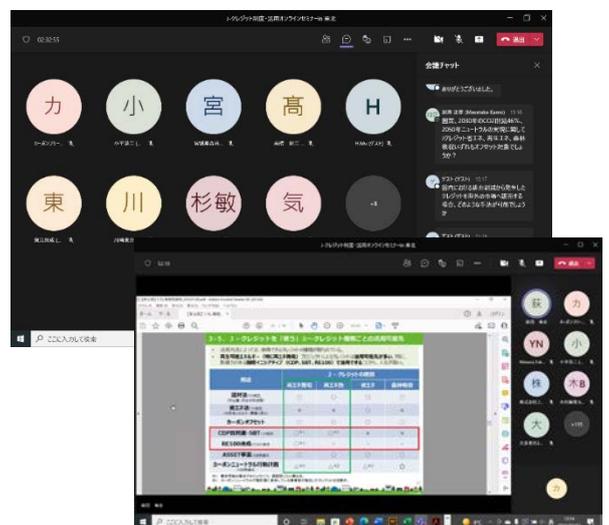
参加申込書チラシ



第1回説明会の様子（仙台会場）

（2）第2回 J-クレジット制度説明会

第2回制度説明会は、オンラインのみで開催した。内容は再エネ電力由来クレジットの汎用性の高さについての説明に重点をおいた内容とした。その背景には、再エネ由来 J-クレジットは省エネ由来 J-クレジットと異なり国際イニシアティブでも活用可能であり、活用者が自社の再エネ化を促進する上でも有効な手段であることなどを考えてのことであった。特に、賃貸ビルに事務所を構える事業者にとっては、自社の賃貸部分のみを再エネ化可能とする、最も有効な手段である。再エネ 100



第2回説明会の様子（Teams画面）

宣言 RE Action への参加事業者が加速度的に増えていることを考えても、再エネ電力由来の J-クレジットは今後も多くの活用者が見込まれる。

開催後もたくさんの質問が上がったことから、参加者の関心の高さも伺えた。

■ 議事概要

- ・ タイトル：J-クレジット制度・活用オンラインセミナー in 東北
～制度の活用方法と東北産クレジットの活用事例紹介～
- ・ 日時：令和4年2月1日（火）13：30～15：30
- ・ 場所：オンライン形式
- ・ 議題1.
J-クレジットの活用
～カーボンニュートラルに向けた再エネクレジットの創出と活用～
J-クレジット制度事務局 みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 環境エネルギー第2部
- ・ 議題2.
脱炭素経営におけるJ-クレジット制度の活用方法と事例紹介
カーボンフリーコンサルティング株式会社 国内事業本部長 池田 陸郎
- ・ 議題3. 企業事例紹介
『ウェブメディア運営企業が目指す、脱炭素とJ-クレジット活用』
ハーチ株式会社 バックオフィスマネージャー 杉山 千秋 様

(3) 第3回 J-クレジット制度説明会

J-クレジット制度事務局より、2名の講師を招き、基本的な制度の講義に加え、森林管理プロジェクトによるJ-クレジットについての説明を展開した。今年1月、制度の変更により森林の整備及び保全により吸収された温室効果ガスの吸収量として認証された国内認証排出削減量については、これを移転した際に加算しないよう変更となった。よって温対法による加算義務がなくなり、森林吸収系クレジット創出および活用への動きが活発化することを考慮してのことであった。

■ 議事概要

- ・ 日時：令和4年3月1日（火）14：00～16：00
 - ・ 場所：オンライン形式
 - ・ 議題1. J-クレジット制度の概要～創出・活用事例～
 - ・ 議題2. J-クレジットの森林管理プロジェクト～登録・認証を中心に～
- 以上 J-クレジット制度事務局
- ・ 議題3. 脱炭素経営におけるJ-クレジット制度の活用方法と事例紹介
～森林吸収系クレジット活用例～
カーボンフリーコンサルティング株式会社 国内事業本部長 池田 陸郎

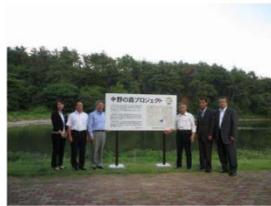
6-1 東北地域の森林吸収系クレジットの活用展開

①岩手銀行と一関市によるクレジット活用促進
地域企業の脱炭素経営を支援する岩手銀行では、地元の一関市の森林クレジットの普及展開を行っています。



6-1 東北地域の森林吸収系クレジットの活用展開

③喜多市と中野区の地域間連携
中野区は、平成27年度から、なかの里・まちなみ連携自治体の1つである福島県喜多市と地球温暖化防止のための森林整備等に関する協定を締結し、喜多市が管理する公有林の間伐実施による二酸化炭素(CO2)吸収分について認証を受けたオフセット・クレジット(J-クレジット)を購入することで、森林整備を支援するとともに、区のイベント等の活動により排出する二酸化炭素(CO2)のうち、どうしても削減できない量をオフセットしています。



議題3 「脱炭素経営におけるJ-クレジット制度の活用方法と事例紹介」資料抜粋

4. 地域ネットワーク会議の開催

本業務では、「J-クレジット東北地域推進協議会」の事務局として、同協議会の開催運営を行った。本協議会は、東北地域においてJ-クレジット制度の活用を促進することにより、地域の温室効果ガスの排出削減に資することを目的として設置されたものであり、今回は、令和3年度事業報告、J-クレジットの需給動向に関する情報提供に加え、環境省東北地方環境事務所、の林水産省東北農政局、経済産業省東北経済産業局より令和4年度関連施策についての情報提供を行った。

■ 議事概要

・ 日時：令和4年2月16日（水） 13:15~15:15

・ 場所：オンライン形式

・ 議事1：令和3年度事業報告

① J-クレジット認証支援について

② J-クレジット制度説明会について

③ J-クレジット東北地域推進協議会名簿について

④ クレジット創出・活用状況

・ 東北地域カーボン・オフセットグランプリ概要

⑤ J-クレジット東北地域活用事例集について

・ 議事2：意見交換・その他



協議会の様子（Teams画面）

・情報提供：令和4年度関連施策について

- ① 環境省 東北地方環境事務所
- ② 農林水産省 東北農政局
- ③ 経済産業省 東北経済産業局

議事1において、上記のとおり本年度の事業について、主に本年度のクレジット活用・創出状況の報告を行った。続く議事2ではカーボンニュートラルに向けた取り組みや現状、今後の課題について、自治体や金融機関を中心に活発な意見交換がなされた。

最後に協議会のまとめとして座長である独立行政法人製品評価技術基盤機構長谷川理事長が講評を行った。以下にその要点をまとめる。

1. 周知活動について

社会的状況を考慮し、制度説明会についてリモート開催を併用したが、結果多くの参加者へ制度を周知することに繋がった。今後もこの利便性を生かしてほしい。

2. カーボン・オフセットの実施について

再エネ活用気運の高まりを受け、活用案件も増加している。今後もストーリー性の高いクレジット活用が広がっていくと考えられることから、CO2削減以外の付加価値を表現する必要が求められる。

3. 制度について

J-クレジット制度は2030年まで継続されるので、引き続き積極的に制度活用を進めてほしい。

4. 来年度に向けて

クレジット創出については、事業者と自治体などが連携し、新たな案件発掘が求められる。協議会構成員の状況共有も必要である。

活用については、今後も積極的に参加してもらい、グランプリ受賞などによるPR効果も視野に入れ、推進することが重要となる。

5. クレジット創出及び活用先の開拓

(1) 創出支援

本業務では、上記2.のとおり、福島サンケン株式会社のJ-クレジットプロジェクト認証を支援した。創出支援のプロセスには、モニタリング報告書の作成支援、同報告書の検証に係る手続き、クレジット認証申請がある。今年度のプロジェクト認証を経て、次年度以降モニタリング報告書作成、認証支援へ、クレジット創出へとつなげる。

(2) 活用先の開拓

本業務では、東北クレジットの地産地消および全国の事業者による活を促進するための支援業務を行った。東北クレジットを東北地域内で活用した事例は8件、活用量13t-CO2であった。また、東北地域外で活用した事例は62件であり、3,357t-CO2で、東北地域内外で合計70件、3,370t-CO2の活用実績となった。

具体的業務としては、①クレジットの活用目的と量を確定するためにカーボン・オフセットの対象となる活動から排出される二酸化炭素の量を算定する業務、②カーボン・オフセットに必要となる東北地域産のクレジットの提案、調達業務、③当該クレジットの無効化手続き、④希望者にカーボン・オフセット証明書を発行する業務があり、活用者の要望に応じてこれらの一部またはすべての支援を行った。

① 東北地域内での活用実績

今年度、東北地域内の活用者は8件となり、継続と新規案件が同等数であった（表2参照）。過年度からの活用者である SENDAI 光のページェントは、引き続き地元松月産業のクレジット協賛でカーボン・オフセットを行うなど、地産地消の模範的な事例が定着している。

また、今年度は、宮城県が県内企業の再生可能エネルギー活用促進のため、創出した再生可能エネルギー由来 J-クレジットの入札による販売を行い、株式会社北洲他が落札した。同県は「クレジットの地産地消」の実現を推進している。以下に東北地域内活用者の事例として、磐梯町立磐梯中学校の事例を記述する。

活用者	新規・継続	用途	活用量(t-CO2)	活用者所在地	クレジット創出者名
SENDAI光のページェント実行委員会	継続	2021SENDAI光のページェントオフセット	2	宮城県	松月産業株式会社
株式会社テレアドットコム	継続	未来科学技術共同研究センター2021年度パンフレット印刷のオフセット	1	宮城県	登米市
ダイコク化成株式会社	継続	東都生協に納品するフルーツキャップオフセット	1	岩手県	住田町
一般社団法人あきた地球環境会議	新規	地球温暖化対策普及啓発シンポジウムオフセット	1	秋田県	秋田上小阿仁村
一般社団法人あきた地球環境会議	新規	ESG金融 ローカルSDGs（地域循環共生圏）シンポジウムオフセット	1	秋田県	秋田上小阿仁村
磐梯町立磐梯中学校	新規	修学旅行のオフセット	4	福島県	喜多方市
東北紙工株式会社	継続	仙台市の環境（本編・概要版）の製造に係る全量オフセット	1	宮城県	登米市
宮城県	継続	2021年度県発行の冊子オフセット	2	宮城県	松月産業株式会社

表2 東北地域クレジットの活用実績（東北地域内活用者）

（ア）磐梯町立磐梯中学校

新規活用者である福島県磐梯町立磐梯中学校では、SDGs 学習と修学旅行のカーボン・オフセットを融合させた取り組みを実現し、本年度の東北地域カーボン・オフセットグランプリの優秀賞を受賞した。カーボン・オフセットは喜多方市森林整備加速化プロジェクトのクレジットを活用して行い、また修学旅行後には活用したクレジットが生み出された喜多方市の森林を見学し、地元の森づくりを体感。自らの修学旅行の移動で排出した二酸化炭素量と森林が吸収する二酸化炭素量について学習した。この取り組みはカーボン・オフセットという制度を通じ、中学生たちの環境意識向上に貢献した。

磐梯町立磐梯中学校修学旅行の移動に係るCO2排出量

旅程：2021年11月3日（水）～11月5日（金）

算定日：2021年10月20日

算定者：カーボンフリーコンサルティング株式会社

算定対象：修学旅行の移動（航空機およびバス）に係るCO2排出量

算定式：GHG排出総量 = 移動距離 × 排出原単位 × 人数

（航空機）GHG排出総量 = 移動距離 × 排出原単位 × 人数

（バス）GHG排出総量 = 燃料消費量 × 排出原単位

算定条件：

- ・バスは1台、燃料は軽油である。
- ・バスの移動距離はグーグルマップにて検索し、結果のうち最も長い距離とした。
- ・バス燃費は国土交通省「自動車燃費目標基準について」（一般バス 目標年度：2015年 最低値を使用）

<https://www.mlit.go.jp/common/001282771.pdf>

原単位：

軽油排出原単位	kg-CO2/kl	2.58	環境省「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」 https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calculiran_2020_rev.pdf
航空機排出原単位	kg-CO2/人・km	0.098	国土交通省 運輸部門における二酸化炭素排出量 https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html

合計CO2排出量

5,148.37 (kg-CO2)

●バス移動に係るCO2排出量

	From	To	移動距離(km)	燃費(km/ℓ)	燃料消費量(ℓ)	排出係数	CO2排出量(kg-CO2)
11月3日	学校	福島空港	79.4	3.57	22.24	2.58	57.382
11月3日	伊丹空港	興福寺	66.2		18.54		47.842
11月3日	なら和み館	東大寺	1.5		0.42		1.084
11月3日	東大寺	ららぽーとexpocity	59.5		16.67		43.000
11月3日	ららぽーとexpocity	新大阪阪急ホテル	22.3		6.25		16.116
11月4日	新大阪阪急ホテル	清水寺	55.5		15.55		40.109
11月4日	清水寺	ユニバーサルジャパン	79		22.13		57.092
11月4日	ユニバーサルジャパン	新大阪阪急ホテル	14.2		3.98		10.262
11月5日	新大阪阪急ホテル	なんば大阪ほてじゅう本店	6.3		1.76		4.553
11月5日	なんば大阪ほてじゅう本店	伊丹空港	17.6		4.93		12.719
11月5日	福島空港	学校	79.4		22.24		57.382

バス移動合計CO2排出量(kg-CO2)

347.541

●飛行機移動に係るCO2排出量

	From	To	移動距離(km)	人数	排出係数	CO2排出量(kg-CO2)
11月3日	福島空港	伊丹空港	662.0	37	0.098	2,400.41
11月5日	伊丹空港	福島空港	662.0	37	0.098	2,400.41

飛行機移動合計CO2排出量(kg-CO2)

4,800.82

表3 磐梯中学校修学旅行のCO2排出量算定結果

オンライン授業で環境問題に理解を深めた磐梯中3年の生徒



修学旅行にSDGS

バス移動CO₂排出

森林整備参加し相殺

磐梯中生が事前学習

磐梯中は今年、持続可能な開発目標(SDGs)や環境問題の学習を組み合わせ、修学旅行を実施する。旅行を前にSDGsへの理解を深めるためのオンライン講演会が11日、磐梯町の同校で開かれた。

3年生約30人が参加。環境問題に詳しいカーボン・リリーコンサルティング(横浜市)の油田謙郎さんを講師に迎え、バス移動による二酸化炭素(CO₂)の排出量や樹木によるCO₂の吸収量についてクイズも交えて楽しく学んだ。旅行メ

ニューは、CO₂排出量をほかの場所で埋め合わせて打ち消す活動「カーボン・オフセット」に取り組み、旅行代理店「オールエイチ企画」(会津若松市)が企画した。今回は旅行の移動に伴うCO₂排出量を、喜多方市森林整備推進プロジェクトへの参加によるCO₂吸収量で相殺する。

9月に修学旅行を行った後、喜多方市の市有林学芸体験学習も実施する。

就農は坂下町内に11社出展し説明会。高校生らが参加。会津坂下町の合同企業説明会(15日)、会津農林高体育館で開かれ、高校生が地元企業の仕事に理解を深めた。新型コロナウイルス

福島民友 2021/6/17

磐梯中生がSDGsを考える

磐梯町の磐梯中3年生は19日、温室効果ガスの排出削減量や吸収量を国が認証する制度「J-クレジット」の対象となる喜多方市熱塩加納町の森林を見学し、持続可能な開発目標(SDGs)や環境問題に理解を深めた一写真。



同校3年生は本年度、SDGsを学ぶ学習を続けている。修学旅行で9月に大阪府などを訪れ、阪急阪神ホテルズのSDGs活動を学び、SDGsのカードゲームをして豊かな世界をつくるために何ができるかを考えた。さらに修学旅行の移動に伴う二酸化炭素排出量を相殺するため、喜多方市の森林整備支援に使う「J-クレジット」を購入。今回、その資金を使って間伐などを行っている森林を見学した。生徒は、喜多方市の担当者から排出した二酸化炭素を森林整備活動などに投資して相殺するカーボン・オフセットの取り組み、J-クレジットの仕組みなどを学んだ。

生徒は今後、これまでの学習内容をまとめ、東北経済産業局の「東北地域カーボン・オフセットグランプリ」に応募する。修学旅行などは、カーボン・オフセットに取り組む旅行代理店「オールエイチ企画」(会津若松市)が企画している。

福島民報 2022/11/17



的に開催した。会津地方の花弁主力品種であるトルコギキョウについて、一定の温度を明るさで育苗することで、切り花の品質向上につながる新たな栽培方法などを学んだ。

■磐梯中のSDGs(持続可能な開発目標)に関する学習。喜多方市の上三宮公民館などで行った「写真」。同校の3年生約30人が参加した。市の担当から市内の森林・林業の現状や温室効果ガス(二酸化炭素)に関する「カーボン・オフセット」の取り組みについて説明を受けた後、森林を見学した。同校は旅行代理店「オールエイチ企画」(会津若松市)が企画した関西方面での修学旅行などを通してSDGsや環境問題に理解を深めている。

■サクソフオン演奏会。会津美里町出身のサクソフオン奏者山浦雅也さんと会津若松市出身の磯波花梨さんらによる演奏会は町じびんホールで開いた「写真」。故郷の人

福島民友 2022/11/28

② 東北地域外での活用実績

今年度も東北地域創出のクレジットは地域外でも多くの活用希望があり、表4のとおり合計70件という目標の50件を大幅に超える結果となった。そのうち継続案件が37件、新規が25件であった。

新規活用案件のうち、今後参考となる優良な5事例について以下に記述する。

活用者	新規・継続	用途	活用量(t-CO2)	活用者所在地	クレジット創出者名
アストラゼネカ株式会社	新規	社内イベント開催に係るオフセット	4	東京都	フクシマフーズ株式会社
石井造園株式会社	継続	令和3年度の横浜市公共工事オフセット	27	神奈川県	フクシマフーズ株式会社
エコモーション株式会社	継続	第9期燃料使用に係るカーボンオフセット	26	東京都	フクシマフーズ株式会社
エコモーション株式会社	継続	第10期上半期燃料使用に係るカーボンオフセット	32	東京都	フクシマフーズ株式会社
株式会社天野さく農建設	継続	令和3年度千葉県公共工事（エアコン工事）オフセット	1	千葉県	豊田市
株式会社天野さく農建設	継続	令和3年度千葉県公共工事（公園）オフセット	1	千葉県	岩手県
株式会社オフィス舞	新規	2021年度に販売するサステナブルTシャツのカーボン・オフセット	1	千葉県	豊田市
株式会社カヌチャペイリゾート	継続	スターダストファンタジア2020-2021イミネーション電力オフセット	2	沖縄県	住田町
株式会社スマートエナジー	新規	2020年度事業活動のエネルギー消費に係るオフセット	18	福岡県	フクシマフーズ株式会社
株式会社ダイイチ	継続	2021年製造のユニフォーム80,000着の寄附型オフセット	120	神奈川県	磐城造林株式会社
株式会社ダイイチ	継続	2021年製造のユニフォーム6,000着の寄附型オフセット	6	神奈川県	磐城造林株式会社
株式会社ダイク	継続	見学施設「日に新た館」来場者の移動に係るオフセット	200	滋賀県	フクシマフーズ株式会社
株式会社テクノジャパン	新規	令和3年度横浜市公共工事（道路）のオフセット①	7	神奈川県	フクシマフーズ株式会社
株式会社テクノジャパン	新規	令和3年度横浜市公共工事（道路）のオフセット②	8	神奈川県	フクシマフーズ株式会社
株式会社パイロッドコーポレーション	新規	オリエンタルコーポレーションに納品するリサイクルトナーのカーボンオフセット	31	東京都	フクシマフーズ株式会社
株式会社ビーブル	継続	衣料品16万品のカーボン・オフセット	80	愛知県	フクシマフーズ株式会社
株式会社ユーズ	継続	レストランの使用済み食油の再資源化によるCO2排出の一部オフセット	5	東京都	フクシマフーズ株式会社
株式会社横浜フリスポートクラブ	継続	2021年横浜FCの全ホームゲームの来場者オフセット	88	神奈川県	フクシマフーズ株式会社
一般社団法人横浜FCスポーツクラブ	継続	2021年ニッパツ横浜FCシーガルズの来場者オフセット	5	神奈川県	フクシマフーズ株式会社
京都市	新規	R3年度スマート水素ステーション付帯設備再エネ化	10	京都府	宮城県
河藤商事株式会社	継続	2021年製造のユニフォーム寄附型オフセット	150	埼玉県	磐城造林株式会社
サンメッセ株式会社	新規	フェイラージャパンの製品カタログ印刷に係るオフセット	1	東京都	豊田市
サンメッセ株式会社	新規	フェイラージャパンのクリスマスチラシの印刷に係るカーボン・オフセット	1	東京都	豊田市
サンメッセ株式会社	新規	フェイラージャパンのカレンダーの印刷製本に係るカーボン・オフセット	5	東京都	豊田市
サンメッセ株式会社	継続	東洋アルミニウム株式会社「サステナビリティレポート2021」の印刷に係るオフセット	2	東京都	フクシマフーズ株式会社
サンメッセ株式会社	新規	ファインシンターの会社案内の印刷に係るカーボンオフセット	1	愛知県	松月産業株式会社
サンメッセ株式会社	継続	朝日工業社「コーポレートレポート2021」の印刷に係るオフセット	2	東京都	豊田市
ソーバイエス株式会社	新規	バルコベスシステムズに提供する清掃サービスのオフセット	20	東京都	豊田市
島栄印刷株式会社	継続	通帳、預金証書製造(2021年6月21日～2021年9月20日分)に係る電力のオフセット	45	大阪府	フクシマフーズ株式会社
島栄印刷株式会社	継続	通帳、預金証書製造(2021年9月21日～2021年12月20日分)に係る電力のオフセット	41	大阪府	フクシマフーズ株式会社
島栄印刷株式会社	継続	通帳、預金証書製造(2021年3月21日～2021年6月20日分)に係る電力のオフセット	33	大阪府	フクシマフーズ株式会社
中電コンサルtant株式会社	継続	2020年度フエルトグリーンネット例会出席者の移動に係るオフセット	2	広島県	二戸市
東京美術興業株式会社	継続	豊和会館2020年度緑地メンテナンスサービスに係るオフセット	1	東京都	二戸市
東京美術興業株式会社	継続	豊和会館2020年度ビル清掃サービスに係るオフセット	1	東京都	松月産業株式会社
凸版印刷株式会社	新規	フォルシタクリオン・エレクトロニクス株式会社発行Company Profile 2021の印刷に係るカーボンオフセット	1	東京都	フクシマフーズ株式会社
日経印刷株式会社	継続	令和3年版「環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書」の印刷	3	東京都	豊田市岩手県喜多方市
日本WPA	継続	令和3年度水なし印刷のオフセット	203	東京都	株式会社アマタケ
ハチ株式会社	新規	2019年度の消費電力の一部および2020年度消費電力量の再エネ化	8	東京都	宮城県
横浜中華街発展会協同組合	新規	2021-2022春節ランタンオブジェパビリオン使用電力再エネ化	7	神奈川県	宮城県
株式会社読売広告社	新規	雪ヶ谷化学工業株式会社の見本市展示ブース出展に係るオフセット	1	東京都	住田町
日本学生sports協会/Gameic	新規	2021年度公認ゲームの使用電力のオフセット	30	東京都	フクシマフーズ株式会社
株式会社イー・ファクトリー	新規	2021年度、2022年度に印刷販売する名刺5000枚分の一部オフセット	11	大阪府	豊田市
株式会社岡田洋行	新規	2020年9月から2021年7月に販売した輪島塗の製造に係るオフセット	2	石川県	豊田市
株式会社サンエス	継続	2021年製造する6000着のユニフォームのカーボンオフセット	30	広島県	社会福祉法人いづつ舎会
株式会社プリプレス・センター	継続	エコプロ2021出展のオフセット（NPO法人非日本木材資源リサイクル協会）	1	東京都	フクシマフーズ株式会社
株式会社プリプレス・センター	継続	エコプロ2021出展のオフセット（認定NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会）	1	東京都	フクシマフーズ株式会社
株式会社プリプレス・センター	継続	エコプロ2021出展のオフセット（石光商事株式会社）	3	東京都	フクシマフーズ株式会社
株式会社プリプレス・センター	継続	エコプロ2021出展のオフセット（株式会社ヨネヤマ）	6	東京都	フクシマフーズ株式会社
株式会社プリプレス・センター	継続	エコプロ2021出展のオフセット（ライオン株式会社）	10	東京都	フクシマフーズ株式会社
株式会社光陽社	新規	2021年9月～2023年8月の飯能工場の社有車の燃料オフセット	28	東京都	フクシマフーズ株式会社
東京紙バルブ貿易株式会社	新規	2021年事業活動のエネルギー使用量のオフセット	1461	東京都	フクシマフーズ株式会社
豊島株式会社	新規	社内報「Will Mag」1,000冊の印刷に係るオフセット	1	愛知県	岩手県
有限会社イズ	継続	2021年国内出張の航空機利用のカーボン・オフセット	4	東京都	住田町
日本コンベンションサービス株式会社	新規	経済産業省の「TCFDサミット2021」開催に係るオフセット	1	東京都	フクシマフーズ株式会社
中野区	継続	2021年資源回収車と清掃車の燃料オフセット	70	東京都	喜多方市
日本学生陸上競技連合（ADK）	継続	2021秋父宮杯全国大学対校駅伝の開催に係るオフセット	15	東京都	岩手県
石井造園株式会社	継続	2021年事業活動のオフセット	10	神奈川県	フクシマフーズ
株式会社大川印刷	継続	豊島株式会社が納品するサステナブル・ブランド国際会議2022横浜のトートバッグ印刷電力の再エネ化	1	神奈川県	宮城県
みずほリーディングテクノロジー株式会社（上クレジット制度事務局）	継続	2021年度に開催した「クレ制度委員会・説明会等のオフセット	1	東京都	宮城県
株式会社天野さく農建設	継続	船橋市道06-025号幹線道路舗装工事のオフセット	2	千葉県	岩手県住田町
西日本プラント工業株式会社	新規	2021年度エネルギー使用量のオフセット	397	福岡県	宮城県
株式会社博覧	新規	サステナブル・ブランド国際会議2022横浜開催に係るオフセット	72	東京都	フクシマフーズ

表4 東北地域クレジットの活用実績（東北地域外活用者）

(ア) 株式会社 パイロットコーポレーション

株式会社コーポレーションは顧客の株式会社オリエントコーポレーションへ提供するリサイクルトナーの製造によって排出される CO2 を東北地域創出のクレジットでカーボン・オフセットして納品する取り組みを行った。こういった取り組みは顧客の自らの排出量削減には貢献しないものの、環境意識の高い顧客からは大変高く評価され、オフセットの手法として今後も増えていくと考えられる。



カーボンフリーコンサルティング株式会社 殿
(口座番号: JP-100-20000-00001-00012-00) 12110050012
2021年10月05日

J-クレジット制度管理者

無効化通知書
J-クレジット制度実施要綱第3.2に基づき無効化申請の結果として、下記のとおり、J-クレジット登録簿システムに処理したので、お知らせします。

記

トランザクション番号 JP-20000-00000-21045
口座種別 J-クレジット用 無効化口座
口座番号 JP-100-20000-00000-00400-00
処理日 2021年10月04日

項目	種別	クレジット特定番号	数量 (t-CO ₂)	省エネルギー量 (kl:原法換算)
1	RC	クレジット認証番号(プロジェクト名)		
		JC-400-000-001-935-094 ~ JC-400-000-001-935-124	31	2.8
2011703				

以上

事業者記入欄
株式会社オリエントコーポレーションが2020年4月1日～2021年3月31日に使用した「株式会社パイロットコーポレーション製リサイクルトナー」5,028個の製造に係るCO2排出量30,960kg-CO2を全量カーボン・オフセットするため。

パイロットコーポレーションからの依頼により、オリエントコーポレーション宛に発行されたカーボン・オフセット証明書と無効化通知書

(イ) ハーチ株式会社

ハーチ株式会社は、環境に関するコンテンツを多く運営しているウェブメディア運営会社である。今年度初めて宮城県の再エネクレジットを活用し、国内事業所の電力の再エネ化を実現した。同時に再エネ 100 宣言 RE Action への加盟、また SBTi への参画も行き、現在も自社の排出量削減に積極的に取り組んでいる。

同社のような、事業所がビルの一室である場合、J-クレジット活用による再エネ化は大変簡便かつ有効な手段であり、今後も多くの活用が期待される。

本取組は、ウェブメディア運営会社という特性を通じ、多くの人の目に留まる取組となり、優良事例として今後も大変参考となる案件である。今年度の東北地域カーボン・オフセットグランプリにおいても高く評価され、再エネ賞を受賞。また、第2回 J-クレジット制度説明会においても講師として登壇し、多くの参加者の関心を集めた。

私たちが感じた J-クレジット

メリット

- ・ どうしても排出されるCO2を再エネ化できる。
- ・ 検索・比較がしやすい。

大切にしたこと

クレジット運営先の地域や団体とつながっていきたく
思えるか？



クレジットの購入先の1つである北海道下川町への取材記事

ゼロカーボンの取り組み①：各種枠組みへの参加



制度説明会講演資料より抜粋



(ウ) 横浜中華街発展会協同組合

同組合は、横浜中華街での春節ランタンのイルミネーションの使用電力を宮城県の再エネ由来クレジットにより再エネ化する取り組みを行い、その算定および無効化手続き支援を行った。

まず、春節が行われる期間と使用される電球種類および数量から消費電力量を求めた。算出された消費電力量を宮城県の再エネ由来 J-クレジットの再エネ算定量に置き換えることで再エネ化を実現した。

本取り組みは東北地域カーボン・オフセットグランプリの再エネカーボン・オフセット賞を受賞し、それによって、神奈川県内外のメディアからも注目された。今後イルミネーションの消費電力再エネ化の代表例になると考えられる。

このように、イベントにおける再エネ電力由来クレジットの活用は、近年取り組みが活発化しており、今後も様々なイベントへ網羅的な活用が期待される。



※春節ランタンの告知ポスター

ツケ種類	取付位置	数量	消費電力 (W)	取り口	通常点灯時間	大晦日・春節時	点灯式		
1	中国結び(137)	六角灯	107	535	各灯分電盤	16:00 ~ 1:00			
		南門シルクロード	11	55	各灯分電盤				
		東門街灯	4	20	各灯分電盤				
		北門通り	3	15	加賀町分電盤				
		吉浜町	12	60	街路灯分電盤				
中国結び(20)	中華街大通り	20	100	各灯分電盤	16:00 ~ 0:00				
中国結び(22)	関帝廟通り	22	110	街路灯分電盤					
2	上空ランタン(100節籠)	中華大通り	100	500	善隣門前/分電盤 ①	16:00~23:00	16:00~2:00	18:10~23:00 (手動)	
			80	400					
			39	195					市場通り (大) /分電盤 ②
			30	150					上海路街路灯/分電盤③
	上空ランタン(50節籠)	関帝廟通り	50	250	地久門前/分電盤 ⑤				
			30	150	関帝廟前/分電盤 ⑥				
			72	360	関帝廟通街路灯/分電盤 ⑦				
			104	520	天長門前街路灯/分電盤 ⑧				
	上空ランタン(赤ランタン、スポンサーランタン)	西門通り	78	390	西門通街路灯/分電盤 ⑨				
			中山路	49	245			中山路街灯/分電盤	
			福建路	40	200			福建路街路灯/分電盤 ⑩	
			市場通り		0			市場通り 分電盤	
			北門通り	75	375			交番前イベント盤 ④	
			長安道	80	400				
85	425	天長門前街路灯/分電盤 ⑧							
3	オブジェランタン(鳳凰+龍)	山下町公園	2	3000	天長門前街路灯/分電盤 ⑧	16:00~23:00	16:00~2:00	18:10~23:00 (手動)	
	上空ランタン(赤ランタン)	會芳亭	30(小)	150	天長門前街路灯/分電盤 ⑧				
	オブジェランタン(財神)	加賀町警察	1	2000	加賀町分電盤				
4	牌楼バナ-	東門(朝陽門)	1	30	東門(朝陽門) /分電盤	16:00~23:00	16:00~2:00	16:00~23:00	
		北門(玄武門)	1	30	北門(玄武門) /分電盤				
		西門(延平門)	1	30	西門(延平門) /分電盤				
		南門(朱雀門)	1	30	南門(朱雀門) /分電盤				
春節小計			1098	10,725	8h/day × 120day	16:00~00:00			
5	雷音寺(西遊記メインオブジェ)	山下町公園	1	4000					
			2	3000					
			10	6000					
			50	250					
春節パビリオン小計			63	13,250	7h/day × 14day	16:00~23:00			

2022春節電力(kWh)	10,296
2022春節パビリオン電力(kWh)	1,299
2022消費電力合計	11,594.5

表5 春節イルミネーションの消費電力量算定結果

(エ) 日本学生 sports 協会/Gameic

同協会は、2021年度公認大会開催に伴い消費する電力のカーボン・オフセットを行い、その無効化手続き支援を行った。若い世代に人気があるEゲームであるが、その世代にカーボン・オフセットという手法を訴求できる良い機会となった。オフセット量は1ゲームあたり3t-CO2とし、合計10試合分の30t-CO2のオフセットにフクシマフーズによる省エネ由来J-クレジットを活用した。

同協会は今後も環境活動としてカーボン・オフセットを積極的に取り入れることを表明しており、継続的な活用が見込まれる。

- SDGs への取り組みとして、一般eスポーツ大会として日本初となるカーボン・オフセットの利用



カーボン・オフセット証明書 (左) / 無効化通知書 (右)

2021年8月28日(土)、29日(日)の2日間に渡って開催された「IdentityV Open Tournament powered by Red Magic」の運営に際して、使用する電力により発生する二酸化炭素排出量をカーボンプレジットにおいてオフセットし、ecoなeスポーツ大会を運営いたしました。

また、運営に際して、大会スタッフへ徒歩・eco car にて移動するよう呼びかけると共に、クールビズの徹底により冷房の使用を控えるなど、二酸化炭素排出量の削減のために多面的な取り組みを実施いたしました。

なお、今回のJ-クレジットは東北地域創出のクレジットを活用し、東日本大震災被災地復興活動を支援しております。

今後も、Gameicの公認大会ではカーボン・オフセットを利用したecoな大会運営・指導をすると共に、eスポーツ市場のecoで持続可能な発展を促進すべく、多面的な活動を行なって参ります。

同協会の HP より

(オ) 株式会社岡垣漆器店

同社は日本の伝統工芸品である輪島塗製造の事業者である。そもそも輪島塗はひとつひとつ職人の手によって作られており、CO2 排出量が少ない製品である。同社は東北地域で漆の植樹を行っており、植樹した漆の CO2 吸収量でのオフセットを目標としており、今年度初めてとなったカーボン・オフセットは漆が十分に成長し、CO2 吸収量が安定するまでの期間、継続して行うこととして実施された。

クレジットは漆が植樹されている東北地域である岩手県のクレジットを選定した。当社では漆製品の排出量算定および無効化手続きを支援した。

《千舟堂「iro椀」排出量算定結果》

■対象期間：2020年8月1日～2021年7月31日

■期間におけるCO2排出量

1,102.60 kg-CO2

■iro椀販売実績

	2020.08~2021.01	2021.02~2021.07	期間中合計
iro椀販売数	117	23	140

■iro椀（100客単位）の製作工程におけるCO₂排出量

	ガソリン (kg-CO2)	電気 (kg-CO2)
木材（岐阜・福井）	104.76	37.72
寺西椀木地	44.12	169.74
向下地	11.61	15.088
茶平上塗り		33.948
余門上塗り		169.74
岡垣配送	185.76	15.088
小計排出量	346.25	441.324
合計排出量	787.6	

表6 輪島塗の製造によるCO₂排出量算定結果

③ カーボン・オフセット証明書の発行

今年度の東北CO₂クレジットマーク付きの証明書発行件数は56件で、そのうち、J-クレジット東北地域推進協議会の証明書の発行件数は8件であった。本証明書は無償で発行していることから、活用者より継続して発行依頼をいただくことも多い。

今後は発行についての申請や手続の手順についての整備、デザインの刷新や、加えて新規活用者への周知を広く行うことなども課題である。



今年度のグランプリ優秀賞
磐梯中学校に発行された証明書

発行月	社名	オフセット概要
2021年4月	株式会社ユーメディア	社の都環境プラン（仙台市環境基本計画）本編・概要版 オフセット
2021年8月	株式会社テレアドットコム	未来科学技術共同研究センター2021年度パンフレット印刷のオフセット
2021年8月	東北紙工株式会社	仙台市の環境（令和2年度実績報告書）本編・概要版印刷のオフセット
2021年11月	一般社団法人あきた地球環境会議	地球温暖化対策普及啓発シンポジウムin秋田オフセット
2021年11月	一般社団法人あきた地球環境会議	令和3年度 ESG金融 ローカルSDGs（地域循環共生圏）シンポジウムin 秋田オフセット
2021年11月	アールエイチ企画	磐梯中学校修学旅行のカーボンオフセット
2022年1月	SENDAI光のページェント実行委員会	2021SENDAI光のページェントオフセット
2022年1月	経済産業省（日本コンベンションサービス）	TCFDサミット2021オフセット

表7 J-クレジット東北地域推進協議会のカーボン・オフセット証明書発行表

④ 東北地域カーボン・オフセットグランプリ

例年に引き続き、「東北地域カーボン・オフセットグランプリ」を以下のとおり実施した。本グランプリは今回で7回目となり、今年度は5部門16事例のエントリーとなり、審査の結果、13者13事例を優良事例として決定した。受賞者の取組は、東北経済産業局のホームページ等で広く紹介され、J-クレジット制度活用者に対する良い刺激となるとともに、J-クレジット制度やカーボン・オフセットの普及促進を図る上で有益なイベントとなった。

ア 募集内容

本グランプリの対象部門は昨年度同様とし、2021年10月1日から2021年11月30日までの期間において募集を行った。その結果、①東北地域カーボン・オフセット部門2者、②東北地域カーボン・オフセットチャレンジ部門1者、③東北支援型カーボン・オフセット部門9者、④SDGsカーボン・オフセット部門11者、⑤東北地域再エネ推進部門4者のエントリーとなった。このエントリー者数には重複エントリーを含んでいる。応募者はJ-クレジット制度の施行以降（平成25年4月以降）、東北6県で創出されたクレジットを活用しカーボン・オフセットを行った企業や団体などを対象とし、自薦、他薦を問わないこととした。

イ 受賞団体

2021年12月27日に東北経済産業局会議室において選考委員会を開催し、独立行政法人製品評価技術基盤機構長谷川理事長をはじめとする審査委員7名によって厳選な審査を行った。審査は各賞の詳細および16事例の応募内容について事務局から説明し、質疑の後、審査・選考要領および審査表に基づいて評価を行い、取組毎に各委員の平均点を算出した。その平均点を参照し、審査委員会内の話し合いにて表彰案件の選考を行った。その結果、表8のとおり、各部門の受賞者が決定した。今年度も残念ながら最優秀賞は該当なしとなった。今年度は東北地域内からのエントリーが3者と少なかったため、次年度以降は東北地域内からのエントリー数を増やすことが課題となった。

加えて、過年度から使用されている審査項目および審査基準や配点についても、刷新の時期が来ていると考える。

令和3年度「東北地域カーボン・オフセットグランプリ」受賞者一覧

(各賞五十音順)

【東北地域カーボン・オフセット部門】（対象：東北地域内）

最優秀賞：東北地域のカーボン・オフセットとしてモデル性が高く、手本となる取組を表彰

優秀賞：最優秀賞に次いで特徴的な取組を表彰

奨励賞：優秀賞に次いでカーボン・オフセットの普及に貢献し得る取組を表彰

事業者名	取組内容	所在地
<優秀賞> 錦標町立錦標中学校	総合学習におけるSDGsの取り組みと修学旅行のカーボン・オフセット	福島県
<奨励賞> 三沢市ソーラーシステムメンテナンス事業協同組合	会員企業の使用電力に係るCO ₂ 排出量の一部を青森県森林が吸収するクレジットを購入することで域内でオフセット	青森県

【東北地域SDGsカーボン・オフセット部門】（対象：東北地域内外）

SDGsカーボン・オフセット賞：J-クレジット等を活用しCO₂排出量の削減に寄与するとともにSDGsの達成に貢献する積極的な取組を表彰

事業者名	取組内容	所在地
カルネコ株式会社	顧客へ納品するPOPをクレジット活用でゼロカーボンへ	東京都
株式会社ニチレイフーズ	「お弁当にGood!」の売上金の一部を活用した寄付型オフセット	東京都
日本学生esports協会 / Gameic	eスポーツ公式大会開催時の運営における電力使用量のカーボン・オフセット	東京都

【東北地域再エネ推進部門】（対象：東北地域内外）

再エネカーボン・オフセット賞：東北地域の再エネ系J-クレジットを活用し、CO₂排出量の削減に寄与するとともに、再エネの普及モデルとなる取組を表彰

事業者名	取組内容	所在地
ハーチ株式会社	宮城県の再エネクレジットで全オフィスの電力を再エネ100%達成	東京都
横浜中華街発展会協同組合	宮城県の再エネクレジットで横浜中華街春節ランタンの電力再エネ100%達成	神奈川県

【東北地域カーボン・オフセットチャレンジ部門】（対象：東北地域内）

チャレンジ賞：東北地域のカーボン・オフセットとして3年以内に行われ、汎用性が高く、他が追随しやすい取組を表彰

事業者名	取組内容	所在地
株式会社熊谷工務店	事業活動から排出されるCO ₂ の一部をオフセット	岩手県

【東北支援型カーボン・オフセット部門】（対象：東北地域外）

東北支援賞：東北地域外の企業等が東北地域で創出されたクレジットを活用した場合の優れた取組を表彰

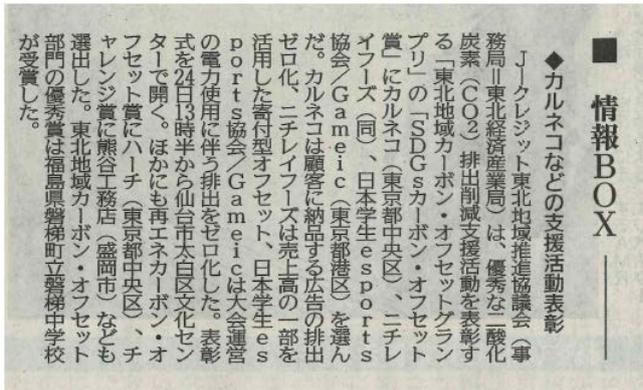
事業者名	取組内容	所在地
株式会社イー・ファクトリー	カーボン・オフセット名刺の販売	大阪府
株式会社Innovation Design	宮城県の再エネクレジットでショップとレストランの電力をカーボン・オフセット	東京都
株式会社光陽社	印刷業という業態を生かし、印刷機台数1台につき100円を原資にカーボン・オフセットを実施	東京都
フェイラージャパン株式会社	広報印刷物（カタログ・チラシ・カレンダー）にはじめてのカーボン・オフセット	東京都
雪ヶ谷化学工業株式会社	クレジット活用で見本市「化粧品産業技術展」のCO ₂ ゼロブースへ	東京都

表8 東北地域カーボン・オフセットグランプリ受賞者一覧

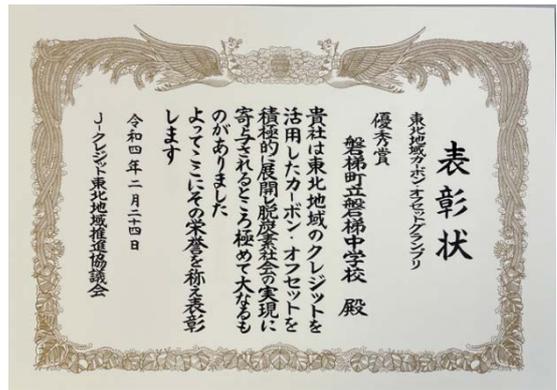
令和4年月に仙台市内の会場で行われる予定であった表彰式については、コロナ感染症蔓延による中止が決定されたため、各受賞者には表彰状の送付をもって表彰完了となった。

表彰状の表彰文面については、今年度より脱炭素社会の流れに合わせ「低炭素社会」から「脱炭素社会」へ変更した。

表彰式の中止によって、受賞者の対外的な発表の場が無くなりとはしたが、受賞した取組内容は新聞全国紙へ取り上げられ、各自の取組を広く紹介する良い機会となった。



日刊工業新聞（2022年2月22日）



今年度の表彰状（優秀賞）

6. 活用事例集の作成

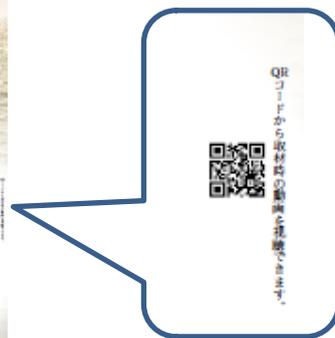
本業務では、J-クレジット制度東北地域事例集2021年度版を作成した。体裁は全カラー12ページ、部数は200部で、昨年度発刊した内容に、令和2年度東北地域カーボン・オフセットグランプリ受賞者の取り組み内容を更新して編集を行った。

新しくインタビューを行った記事にはQRコードを配置し、読み込むことでYouTubeによるインタビュー動画がいつでも閲覧可能とし、J-クレジット制度やカーボン・オフセットについて手軽に情報を得られるように工夫した。紙媒体に動画を付加価値としてつけることは、一般によく見られる手法であり、制度を身近に知ってもらうためには有効な手段と考えられる。

また、今年度は加えて、差し込み版のチラシを作成した。このチラシには制度のしくみやJ-クレジット創出者・活用者の制度利用におけるメリットを記載、事例集本体と分離することができることで、チラシ単体としても活用できるように作成した。



差し込みチラシ（裏面）



事例集更新ページとQRコード

7. 東北地域 J-クレジットチャンネルの開設

本年度初の試みとして、東北地域J-クレジットチャンネルと称し、YouTubeによるJ-クレジット制度解説動画番組を経済産業省「metichannel」内に掲載した。

制度の活用を検討している視聴者が、求めている情報をいつでも検索、閲覧できる手法は今後も制度の認知や理解を広めるために大変有効と考える。動画の編集にあたっては、視聴者が集中して学習可能な10分程度とし、シリーズ化して掲載することで継続して情報を得ることができるよう編集した。

2022年3月25日現在、アクセス数は300を超えており、これは制度説明会に300人来場したことと同様と考えられる。多くの視聴者が求めている必要な情報を、検索によってすぐ提供できるという点から、今後も動画公開によるメリットを最大限に生かして制度の周知を図っていくべきと考える。

今年度は第1回の掲載とし、視聴者が更に制度への理解を深めるためにも次年度以降も継続を期待したい。



YouTube「東北地域J-クレジットチャンネル」の映像より

8. 総括

(1) 国内外における脱炭素制度への対応について

今年度は、2021年4月22日に行われた地球温暖化対策推進本部の会合において2013年度に比べて46%削減することを目指すとして発表されたことを受けて、それまでの26%の目標をベースに自身の脱炭素目標を設定してきた事業者は大幅な修正を迫られる状況となった。これに関連し、企業では様々は脱炭素制度等への対応が迫られており、温対法や省エネ法など国内制度への継続的な対応に加えて、海外の脱炭素イニシアティブに関連する対応にも動きのある1年となった。

以下に海外の脱炭素イニシアティブの動きを記す。

RE 100

企業が使用電力を100%再エネで調達することを目指すイニシアティブ。2050年までに全消費電力を再エネにすることを目標。参加企業は年1回の報告義務あり。

国内版は再エネ100宣言

再エネ100宣言
RE Action

CDP
ENVIRONMENTAL LEADERSHIP ACTION

企業などに環境戦略やGHG排出量の開示を求めるプロジェクト。時価総額上位企業に質問書を送付して格付、投資家に情報を提供。
*GHG (Green House Gas) : 温室効果ガス。二酸化炭素、メタン、一酸化炭素、フロンなどがある。

SCIENCE BASED TARGETS
STRONG AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

企業のSBT設定を目指すイニシアティブ。企業のGHG排出削減目標をSBTとして認定し公表。
*SBT(Science Based Targets):パリ協定の気温上昇目標達成に向けた気候科学に基づく削減シナリオと整合する削減目標。

TCFD
RECOMMENDATIONS ON DISCLOSURE

企業などに気候に関する財務情報の公開を促すためのタスクフォース。企業等に対し、気候関連情報公開のための方法を勧告。賛同企業は同勧告に沿って報告書を作成。

企業の自主的な対応が増加する海外の脱炭素イニシアティブ

① RE100 参加企業の増加

RE100 への参加企業数は、昨年末の50社から今年度末までに66社に増加。年間消費電力量が50GWh未達の事業者や自治体向けの国内版RE100である再エネ100宣言への参加事業者数は昨年末の108社から今年度末は239社と倍以上に増加した。これは、企業が脱炭素経営を進めることを第三者が運営するイニシアティブにおいて開示表明することが求められ始めたことの影響が大きいと考える。

RE100参加日本企業 (参加順 2022年3月現在 66社)

株式会社リコー 積水ハウス株式会社 アスクル株式会社 大和ハウス工業株式会社 ワタミ株式会社 イオン株式会社
城南信用金庫 株式会社丸井グループ 富士通株式会社 株式会社エンビプロ・ホールディングス ソニー株式会社
芙蓉総合リース株式会社 生活協同組合コープさっぽろ 戸田建設株式会社 コニカミノルタ株式会社 大東建託株式会社
株式会社野村総合研究所 東急不動産株式会社 富士フイルムホールディングス株式会社 アセットマネジメントOne株式会社
第一生命保険株式会社 パナソニック株式会社 旭化成ホームズ株式会社 株式会社高島屋 株式会社フジクラ 東急株式会社
ヒューリック株式会社 株式会社LIXILグループ 楽天株式会社 株式会社安藤・間 三菱地所株式会社 三井不動産株式会社
住友林業株式会社 小野薬品工業株式会社 日本ユニシス株式会社 株式会社アドバンテスト 味の素株式会社
積水化学工業株式会社 株式会社アシックス J. フロントリテイリング株式会社 アサヒグループホールディングス株式会社
キリンホールディングス株式会社 ダイアモンドエレクトリックホールディングス株式会社 株式会社セブン&アイ・ホールディングス
株式会社ノーリツ 株式会社村田製作所 いちご株式会社 株式会社熊谷組 株式会社ニコン 日清食品ホールディングス株式会社
株式会社島津製作所 東急建設株式会社 セイコーエプソン株式会社 TOTO株式会社 花王株式会社 日本電気株式会社
第一三共株式会社 セコム株式会社 東京建物株式会社 エーザイ株式会社 明治ホールディングス株式会社 西松建設株式会社
カシオ計算機株式会社 野村不動産ホールディングス株式会社 株式会社資生堂 株式会社オカムラ

RE100 参加企業一覧 (JCLP : <https://japan-clp.jp/climate/reoh>)



再エネ100宣言参加企業一覧（再エネ100宣言：<https://saiene.jp/>）

② CDPの対象企業の枠が拡大

企業などに環境戦略やGHG排出量の開示を求めるプロジェクトであるCDPでは、時価総額上位企業に質問書を送付して格付、投資家に情報を提供している。2022年から日本の調査対象をプライム市場上場の全1841社に拡大する。2021年までの時価総額上位500社から3倍以上の増加となる。CDPでは、毎年送付される質問書に対して回答する内容についてスコアリング（上からA、A-、B、B-、C、C-、D、D-、回答しなかった場合にはF：十分な情報を提供していない）がつけられる。スコアの配分などは公開されており、多くの企業が投資家や取引先その他ステークホルダーへの訴求力向上のため、網羅的な回答とスコアアップを目指している。

③ SBTの認定条件が改正

SBTiは、WWF、CDP（旧カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）、世界資源研究所（WRI）、国連グローバル・コンパクトによる共同イニシアティブであり、企業に対し、気候変動による世界の平均気温の上昇を、産業革命前と比べ、1.5度以下に抑えるという目標に向けて、科学的知見と整合した削減目標を設定することを推進している。2022年7月4日より、それまで気温上昇を2.0度以下に抑える目標でも認定を取得できた条件が、1.5度以下に改正される。今後、SBTの認定の取得を目指す企業はこれまでに以上に厳しい目標の設定が求められる。

④ TCFDにそった情報開示の義務化

2022年4月4日の東証市場再編後のプライム市場上場企業1,841社へTCFD提言に沿った開示が実質的に義務付けられたほか、有価証券報告書上での開示の義務化も検討されるなど、スタンダード市場・グロース市場にも脱炭素に向けたCO2排出量の把握や目標の設定・達成に向けた計画の開示を求められる状況が迫っていることを受け、大企業のサプライヤーである中小企業においてもCO2排出量の把握や目標の設定への動きが加速している。

（２）J-クレジットの役割と展望

社会の脱炭素経営に向けた変化において、企業のJ-クレジットへの関わり方にも変化が起こりつつある。自社の脱炭素活動としては、ソフト面の運用改善やハード面での省エネ設備の導入によるエネルギー使用量の削減などが考えられるが、ソフト面での改善効果は軽微にとどまり、設備の導入はコストが課題となる。こうした状況において、J-クレジットを用いたCO₂削減への補填や自社事業における商品やサービスの環境負荷低減を図る企業が増加している。

これまで、ボランティアな環境活動としてのカーボン・オフセットによる商品やサービスの付加価値向上がJ-クレジットの主たる用途として展開されてきたが、今後J-クレジットが、脱炭素経営や事業の差別化などのために「活用すべき手段」となり、多様な需要が生まれることが予想される。

一方、これまでJ-クレジットを創出してきた省エネ設備を導入する事業者側においては、設備更新によるCO₂削減量を自社の脱炭素経営の成果としてカウントする傾向が強くなっており、削減量をJ-クレジットとして社外へ売却することを控えるケースが増えている。これは大手企業を中心として、サプライチェーン全体のCO₂を把握する動きの中で、多くの企業のCO₂排出量が、大企業のScope3排出量の削減目標に含まれることで、サプライチェーン内の企業は削減量をクレジットとして売りづらい状況になりつつあることが影響している。

こうした中で、新たなクレジットの創出については、一般家庭の住宅における太陽光発電設備やヒートポンプの導入、森林経営におけるCO₂吸収事業など、大手企業のサプライチェーン排出量削減目標と距離のある分野に可能性があると考えられる。

また、今後増加するであろうクレジットの活用においては、これまで脱炭素経営を積極的に進めてこなかった事業者からの需要も予想され、制度への対応やボランティアなカーボン・オフセットにおいて、J-クレジット制度の信頼性を担保する正しい活用方法や環境表現を周知することも重要になると考える。

資料編

1. J-クレジット東北地域推進協議会設置要領

J-クレジット東北地域推進協議会設置要領

平成25年7月3日制定

平成29年3月7日改正

令和4年2月16日改正

東北経済産業局

(目的及び設置)

第1 J-クレジット制度の活用を図り、東北地域における温室効果ガスの排出削減に資するため、J-クレジット東北地域推進協議会（以下「推進協議会」という。）を設置する。

(活動内容)

第2 推進協議会の活動内容は、次のとおりとする。

- (1) J-クレジット制度に関する関係者間の情報共有、案件発掘及びマッチング支援
- (2) 推進協議会の構成機関が有するネットワークを活用したマッチングの仕組み作りの検討
- (3) 東北各県におけるJ-クレジット制度に関する協議会や研究会等の活動支援
- (4) その他、推進協議会の目的に資する活動

(組織)

第3 推進協議会は、別表1に掲げる学識経験者、別表2に掲げる関係機関の役職及び別表3に掲げるオブザーバー機関の役職（以下「構成員」という。）をもって構成する。

2 推進協議会は、必要があると認めるときは構成員を追加等することができる。

3 推進協議会に座長を置き、座長は構成員の互選により決定する。

4 推進協議会は、活動を効果的効率的に進めるため専門部会を設けることができる。

(会議)

第4 推進協議会の会議は、東北経済産業局が招集する。

2 専門部会を設置した場合にあっては、会議を年1回以上開催する。

3 前二項に掲げる会議には、必要に応じて関係者を参加させることができる。

(事務局)

第5 推進協議会の事務局は、東北経済産業局資源エネルギー環境部エネルギー対策課に置く。

2 推進協議会の運営については、事務局を外部に委託できるものとする。

別表 1 (第 3 関係 : 学識経験者)

所属	役職及び氏名
独立行政法人製品評価技術基盤機構	理事長 長谷川 史彦

別表 2 (第 3 関係 : 関係機関)

区分	関係機関及び役職
国 (地方支分部局)	農林水産省東北農政局 生産部長 経済産業省東北経済産業局 資源エネルギー環境部長 環境省東北地方環境事務所 統括環境保全企画官
地方自治体	青森県 環境生活部長 青森県 農林水産部長 岩手県 環境生活部長 岩手県 林務担当技監 宮城県 環境生活部長 宮城県 農林水産部長 秋田県 生活環境部長 秋田県 農林水産部長 山形県 環境エネルギー部長 福島県 生活環境部長 福島県 農林水産部長 仙台市 環境局長
法人 (エネルギー関係)	一般財団法人省エネルギーセンター東北支部 事務局長 東北電力株式会社 グループ戦略部門 環境ユニット長 カメイ株式会社 法人営業部長
法人 (観光関係)	株式会社 J T B 東北 地域交流事業推進部長
法人 (金融関係)	株式会社青森銀行 ビジネスパートナー部長 株式会社みちのく銀行 営業戦略部長 株式会社岩手銀行 総合企画部長 株式会社東北銀行 戦略統括部長 株式会社北日本銀行 営業統括部長 盛岡信用金庫 地域応援部長 株式会社七十七銀行 地域開発部長 株式会社仙台銀行 地元企業応援部長 杜の都信用金庫 お客さま支援部長

	株式会社秋田銀行 地域価値共創部長 株式会社北都銀行 営業推進部 地方創生室長 株式会社荘内銀行 営業推進部 地方創生室長 株式会社山形銀行 営業支援部長 株式会社きらやか銀行 本業支援推進部長 株式会社東邦銀行 法人営業部長 株式会社福島銀行 営業本部長 株式会社大東銀行 営業開発部長
--	---

別表3（第3関係：オブザーバー機関）

区分	オブザーバー機関及び役職
国（地方支分部局）	林野庁東北森林管理局 森林整備部長 国土交通省東北地方整備局 企画部長 国土交通省東北運輸局 交通環境部長
地方自治体	登米市 産業経済部長 喜多方市 産業部長
法人	仙台商工会議所 中小企業支援部長 株式会社三井住友銀行 公共・金融法人部 株式会社日刊工業新聞社 仙台総局長 新日本空調株式会社 東北支店 支店長 信金中央金庫 東北支店 営業担当課長 米川生産森林組合 組合長理事

2. 東北地域カーボン・オフセットグランプリ公募要領

令和3年度 東北地域カーボン・オフセットグランプリ 公募要領



J-クレジット東北地域推進協議会

1. 表彰の目的

本表彰は、J-クレジット東北地域推進協議会が、他の模範となるカーボン・オフセットの取組を評価し、その実施団体を表彰するものです。本表彰により優秀な取組を広く紹介することで、カーボン・オフセットの普及や理解促進を図るとともに、地球温暖化対策から波及する複合的な社会貢献を奨励し、脱炭素社会の実現に資することを目的とします。

2. 応募要件

J-クレジット制度の施行以降(平成25年4月以降)に東北6県で創出されたクレジット^{※1}を活用し、カーボン・オフセットを行っていること。

※1 クレジット：J-クレジット、国内クレジット、J-VER

3. 応募方法

- (1) 所定の応募申請書(様式1又は2)に必要事項を記入し、添付資料等を添えて、応募期間内にメールでJ-クレジット東北地域推進協議会事務局へ提出してください。
- (2) 自薦・他薦を問いません。但し、他薦の場合は実施団体の事前了承が必要です。
- (3) 応募期間
令和3年10月1日(金)～ 令和3年11月19日(金)

4. 審査・選考

- (1) 審査は、J-クレジット東北地域推進協議会内に設置する選考委員会にて、行います。
- (2) 選考委員会は、別表「評価項目」に基づいて、審査を行います。
- (3) 過去3年以内に法令違反等を起こし、社会的問題となった事実がある場合は、選考対象から除外します。

5. 表彰

(1) 表彰の種類

表彰種類		申請資格	他部門との併願 ※同一の取組の場合
①東北地域カーボン・オフセット部門		東北地域内	可
最優秀賞	東北地域のカーボン・オフセットとしてモデル性が高く、手本となる取組を表彰する。		
優秀賞	最優秀賞に次いで特徴的な取組を表彰する。		
奨励賞	優秀賞に次いでカーボン・オフセットの普及に貢献し得る取組を表彰する。		
②東北地域 SDGs カーボン・オフセット部門		東北地域内外	可
SDGs カーボン・オフセット賞	東北地域のカーボン・オフセットとして J-クレジット等を活用し、CO2 排出量の削減に寄与するとともに、SDGs の達成に貢献する積極的なカーボン・オフセットの取組を表彰する。		
③東北地域再エネ推進部門		東北地域内外	可
再エネカーボン・オフセット賞	東北地域の再エネ系 J-クレジットを活用し、CO2 排出量の削減に寄与するとともに、再エネの普及モデルとなるようなカーボン・オフセットの取組を表彰する。		
④東北地域カーボン・オフセットチャレンジ部門		東北地域内	可
チャレンジ賞	東北地域のカーボン・オフセットとして3年以内に行われ、汎用性が高く、他が追随しやすい取組を表彰する。		
⑤東北支援型カーボン・オフセット部門		東北地域外	可
東北支援賞	東北地域外の企業・団体等が東北地域で創出されたクレジットを活用した場合の優れた取組を表彰する。		

- 注1) 同一の取組で①～⑤の中から2つ以上の部門にも応募することができます。
 注2) 複数の事業者などによる連名や地域スキーム等で応募することができます。
 注3) 上記表彰以外に特段の功績が認められる者については、特別賞を授与します。
 注4) ②および③については東北内、外の企業どちらも応募することができます。
 注5) ⑤については、東北外の企業のみ応募することができます。

(2) 表彰の方法

表彰状授与については、表彰式を令和4年2月に仙台市内にて開催予定です。感染症の拡大状況により、延期もしくは中止の可能性もあります。今後、以下HPにて発表の予定です。

https://www.tohoku.meti.go.jp/s_shigen_ene/j_credit.html

令和2年度の結果：https://www.tohoku.meti.go.jp/s_shigen_ene/j_credit/topics/210209.html

6. その他留意事項

受賞者の取組事例や表彰式の様子を、プレスリリースや東北経済産業局のホームページ等で情報発信する予定です。あらかじめご了承ください。

【お問い合わせ・提出先】

J-クレジット東北地域推進協議会事務局

(窓口：カーボンフリーコンサルティング株式会社 担当：池田・三浦)

TEL:045-222-3400 E-mail: info@carbonfree.co.jp

(別表): 評価項目

- 東北地域カーボン・オフセットチャレンジ部門の評価項目
 ◎東北地域 SDGs カーボン・オフセット部門の追加評価項目
 ○東北地域再エネ推進部門の追加評価項目

大項目	中項目	部門別 評価項目
①カーボン・オフセット 及び温室効果ガス 排出量の認識	1.カーボン・オフセットの意義や内容を理解している	●
	2.排出量の算定に信頼性のあるデータや公的なデータを用いている	
②カーボン・オフセット の手続き	1.J-クレジットや国内クレジット等を使用し、クレジットの無効化(償却) をしている【必須】	●
	2.オフセット証明書等の発行を受けている	
③温室効果ガス排出 削減の努力	1.温室効果ガス排出削減のため優れた取組をしている	
④カーボン・オフセット の取組内容	1.取組内容に先進性や創意工夫がみられる	●
	2.カーボン・オフセットの普及啓発や波及効果の観点から優れている	●
	3.クレジット(CO2)無効化(償却)の実績がある	
⑤地域・社会に与える 効果	1.地域貢献、地域活性化、産業振興、環境保全等の面で貢献が認めら れる	
	2.多くの関係者が関わる取組である	
	3.地産地消的な取組である	●
⑥カーボン・オフセット 普及に向けた工夫等 (加点項目)	1.取組内容が新聞・専門誌等に掲載された実績がある	●
	2.説明会等で先進事例として講演等を行っている	●
	3.取組内容をホームページ等でわかりやすく公開しPRしている	●
	4.複数年にわたり継続的に実施している	●
	5.東北地域カーボン・オフセットロゴを使用している	●
	6.カーボン・オフセットの実施場所が東北地域である	●
⑦SDGs の達成に貢献 する積極的なカーボン・ オフセットの取組	1.購入する J-クレジット等やカーボン・オフセットの内容について、SDGs の達成に向けて配慮し公表している。	◎
⑧再エネ化への取組に 貢献する積極的なカー ボン・オフセットの取組	1.再エネ由来のクレジットを購入し、自社の再エネ化への取組みを積極 的に行っている。	○

(注)「⑤の3」及び「⑥の6」は、【東北支援型カーボン・オフセット部門】の評価項目からは除外されます。

(1) 東北地域カーボン・オフセットグランプリ応募申請書<自薦用>

令和3年度 東北地域カーボン・オフセットグランプリ

応募申請書<自薦用>

J-クレジット東北地域推進協議会 御中

記入日:令和3年 月 日

応募部門		<input type="checkbox"/> ①東北地域カーボン・オフセット部門 <input type="checkbox"/> ②東北地域 SDGs カーボン・オフセット部門 <input type="checkbox"/> ③東北地域再エネ推進部門 <input type="checkbox"/> ④東北地域カーボン・オフセットチャレンジ部門 <input type="checkbox"/> ⑤東北支援型カーボン・オフセット部門 ※同一の取組で①～⑤の中から 2 つ以上の部門に応募することも可能です。 その場合は応募する部門すべてにチェックを入れてください。
申 請 者	企業・団体名	(フリガナ)
	代表者の 役職氏名	(フリガナ)
	所在地 又は住所	〒
	ホームページ URL	http://
	連絡先	
	担当部署	
	役職氏名	
	TEL・FAX	
	E-mail	

1. 取組内容についてご記入ください。	
名称	
注)取組の内容を第三者にわかりやすい説明となる名称をご記入ください。 例)〇〇を活用したカーボン・オフセット、〇〇の購入で身近なところからカーボン・オフセットなど	
無効化(償却)日	
注)複数ある場合、全ての償却日をご記入ください。 ※無効化(償却)済であることを証明する書類(無効化通知書等)を添付すること	
算定範囲	
【記入欄】 例1: イベント開催時の関係者の移動、会場における電力使用量、廃棄物処理に伴う温室効果ガス排出量 例2: 1商品につき〇kgのクレジットを付与	
2. 評価項目についてご記入ください。 ※公募要領の別表の大項目の丸番号と連動しています。	
③温室効果ガス排出削減の努力	
[1]温室効果ガス排出削減のため優れた取組をしている	
④カーボン・オフセットの取組内容	
[1]●取組内容に先進性や創意工夫がみられる	
[2]●カーボン・オフセットの普及啓発や波及効果の観点から優れている	
⑤地域・社会に与える効果	
[1]地域貢献、地域活性化、産業振興、環境保全等の面で貢献が認められる	
[2]●カーボン・オフセットの普及啓発や波及効果の観点から優れている	
[2]多くの関係者が関わる取組である	
[3]●地産地消的な取組である	

⑥カーボン・オフセット普及に向けた工夫等	
[1]●取組内容が新聞・専門誌等に掲載された実績がある	はい・いいえ ーはいの方は詳細を記入し、根拠資料を添付してください。 ()
[2]●説明会等で先進事例として講演等を行っている	はい・いいえ ーはいの方は詳細を記入し、チラシ等があれば添付してください。 ()
[3]●取組内容をホームページ等でわかりやすく公開しPRしている	はい・いいえ ーはいの方は URL をお書きください。 ()
[4]●複数年にわたり継続的に実施している	詳細 () ※無効化通知書等の根拠資料を提出すること
[5]●東北地域カーボン・オフセットロゴを使用している	はい・いいえ ーはいの方は詳細をお書きください。 ()
[6]●カーボン・オフセットの実施場所	東北地域内・東北地域外
⑦SDGs の達成に貢献する積極的なカーボン・オフセットの取組	
[1]◎購入する J-クレジット等やカーボン・オフセットの内容について SDGs の達成に向けて配慮し公表している	
⑧再エネ化への取組に貢献する積極的なカーボン・オフセットの取組	
[1]○再エネ由来のクレジットを購入し、自社の再エネ化への取組みを積極的に行っている。	
3. 取組概要についてご記入ください。 ※概要をわかりやすく示す図などがあれば添付してください。	
【記入欄】取組まれたカーボン・オフセットの内容を簡潔にご記載ください。	

4. その他特記事項			
【記入欄】上記1～3にご記載いただいた内容以外に、特にアピールしたいポイント等をご記載ください。			
5.クレジットについて	種類	無効化(償却)日	無効化(償却)量
			t-CO ₂
			t-CO ₂
			t-CO ₂
		累計	t-CO ₂

※記入スペースが不足する場合は、適宜行を追加していただいて構いません。

※添付資料

- ①【必須】無効化(償却)済みであることを証明する書類(例 無効化通知書、トランザクション詳細)
- ②【参考】カーボン・オフセット証明書やメディア掲載記事等
- ③【参考】取組の様子がわかる写真や図等の資料
- ④その他、J-クレジット東北地域推進協議会が必要と認めるものを追って提示いただく場合があります。

～取組内容の詳細について後日ヒアリングを行う場合がありますので、御協力をお願いいたします～

(2) 東北地域カーボン・オフセットグランプリ応募申請書<他薦用>

令和3年度 東北地域カーボン・オフセットグランプリ

応募申請書<他薦用>

J-クレジット東北地域推進協議会 御中

記入日:令和3年 月 日

応募部門		<input type="checkbox"/> ①東北地域カーボン・オフセット部門 <input type="checkbox"/> ②東北地域 SDGs カーボン・オフセット部門 <input type="checkbox"/> ③東北地域再エネ推進部門 <input type="checkbox"/> ④東北地域カーボン・オフセットチャレンジ部門 <input type="checkbox"/> ⑤東北支援型カーボン・オフセット部門 ※同一の取組で①～⑤の中から 2 つ以上の部門に応募することも可能です。その場合は応募する部門すべてにチェックを入れてください。
推 薦 者	企業・団体名	(フリガナ)
	代表者の 役職氏名	(フリガナ)
	所在地 又は住所	〒
	ホームページ URL	http://
連 絡 先	担当部署	
	役職氏名	
	TEL・FAX	
	E-mail	

1. 取組内容についてご記入ください。	
名称	
注)取組の内容を第3者にわかりやすい説明となる名称をご記入ください。 例)〇〇を活用したカーボン・オフセット、〇〇の購入で身近なところからカーボン・オフセットなど	
無効化(償却)日	
注)複数ある場合、全ての償却日をご記入ください。 ※無効化(償却)済であることを証明する書類(無効化通知書等)を添付すること	
算定範囲	
【記入欄】 例1: イベント開催時の関係者の移動、会場における電力使用量、廃棄物処理に伴う温室効果ガス排出量 例2: 1商品につき〇kgのクレジットを付与	
2. 評価項目についてご記入ください。 ※公募要領の別表の大項目の丸番号と連動しています。	
③温室効果ガス排出削減の努力	
[1]温室効果ガス排出削減のため優れた取組をしている	
④カーボン・オフセットの取組内容	
[1]●取組内容に先進性や創意工夫がみられる	
[2]●カーボン・オフセットの普及啓発や波及効果の観点から優れている	
⑤地域・社会に与える効果	
[1]地域貢献、地域活性化、産業振興、環境保全等の面で貢献が認められる	
[2]●カーボン・オフセットの普及啓発や波及効果の観点から優れている	
[2]多くの関係者が関わる取組である	
[3]●地産地消的な取組である	

⑥カーボン・オフセット普及に向けた工夫等	
[1] ●取組内容が新聞・専門誌等に掲載された実績がある	はい・いいえ →はいの方は詳細を記入し、根拠資料を添付してください。 ()
[2] ●説明会等で先進事例として講演等を行っている	はい・いいえ →はいの方は詳細を記入し、チラシ等があれば添付してください。 ()
[3] ●取組内容をホームページ等でわかりやすく公開しPRしている	はい・いいえ →はいの方は URL をお書きください。 ()
[4] ●複数年にわたり継続的に実施している	詳細 () ※無効化通知書等の根拠資料を提出すること
[5] ●東北地域カーボン・オフセットロゴを使用している	はい・いいえ →はいの方は詳細をお書きください。 ()
[6] ●カーボン・オフセットの実施場所	東北地域内・東北地域外
⑦SDGs の達成に貢献する積極的なカーボン・オフセットの取組	
[1]◎購入する J-クレジット等やカーボン・オフセットの内容について SDGs の達成に向けて配慮し公表している	
⑧再エネ化への取組に貢献する積極的なカーボン・オフセットの取組	
[1]○再エネ由来のクレジットを購入し、自社の再エネ化への取組を積極的に行っている。	
3. 取組概要についてご記入ください。 ※概要をわかりやすく示す図などがあれば適宜挿入してください。	
【記入欄】取組まれたカーボン・オフセットの内容を簡潔にご記載ください。	

4. その他特記事項			
【記入欄】上記1～3にご記載いただいた内容以外に、特にアピールしたいポイント等をご記載ください。			
5. クレジットについて	種類	無効化(償却)日	無効化(償却)量
			t-CO ₂
			t-CO ₂
		累計	t-CO ₂

被 推 薦 者	企業・団体名 又は氏名	(フリガナ)
	所在地 又は住所	〒
	ホームページ URL	http://
	連絡先	
	担当部署	
	役職氏名	
	TEL・FAX	
	E-mail	

※記入スペースが不足する場合は、適宜行を追加していただいても構いません。

※添付資料

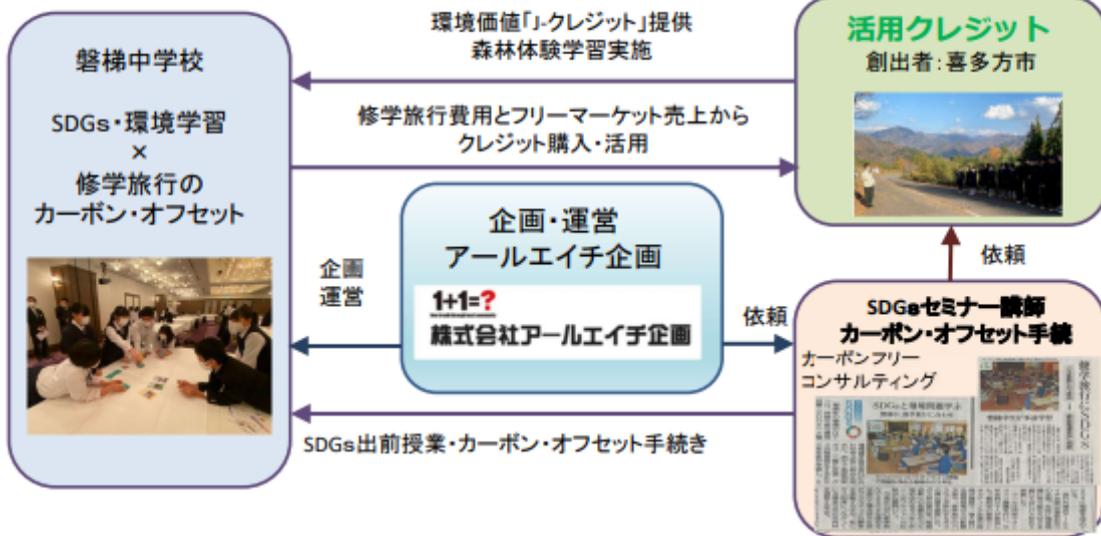
- ①【必須】無効化(償却)済みであることを証明する書類(例 無効化通知書、トランザクション詳細)
- ②【参考】カーボン・オフセット証明書やメディア掲載記事等
- ③【参考】取組の様子がわかる写真や図等の資料
- ④その他、J-クレジット東北地域推進協議会が必要と認めるものを追って提示いただく場合があります。

～取組内容の詳細について後日ヒアリングを行う場合がありますので、御協力をお願いいたします～

(3) 令和3年度東北地域カーボン・オフセットグランプリ受賞団体取組概要

優秀賞 磐梯町立磐梯中学校（福島県）
総合学習におけるSDGsの取り組みと修学旅行のカーボンオフセット

オフセット活動

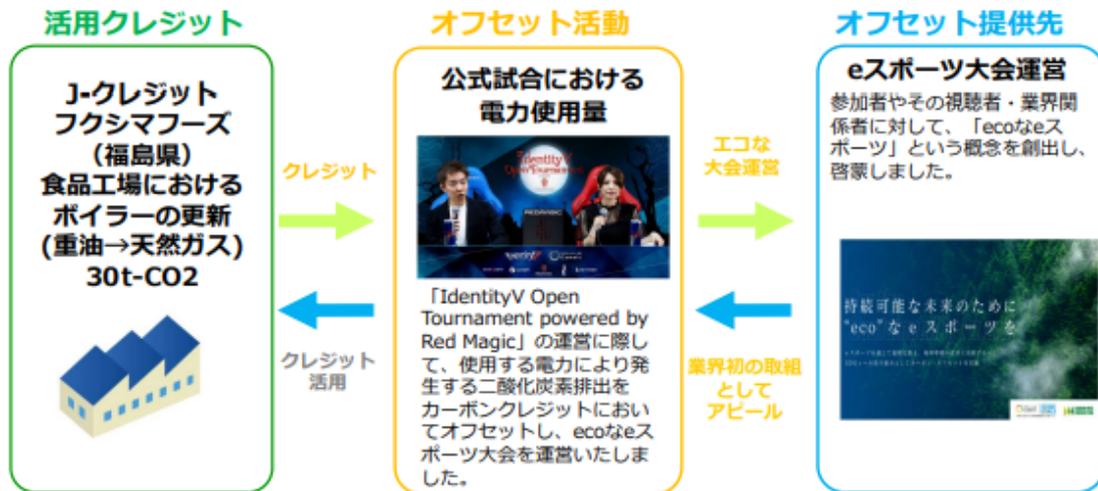


奨励賞 三沢市ソーラーシステムメンテナンス事業協同組合（青森県）
メガソーラーの売電収益からクレジット購入、水素ステーションのカーボン・オフセット



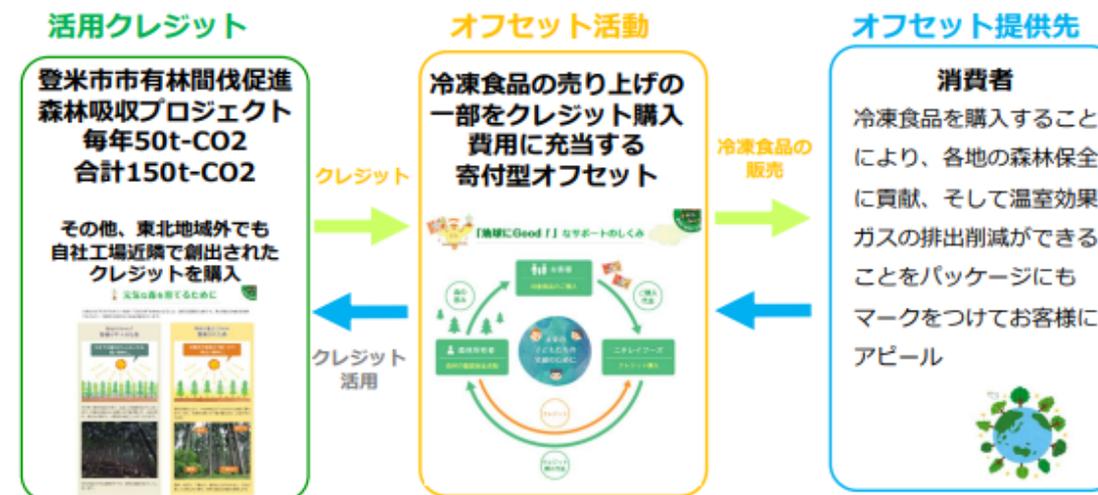
SDGs賞

日本学生esports協会 / Gameic (東京都)
eスポーツ公式大会開催時の運営における電力のカーボン・オフセット



SDGs賞

株式会社ニチレイフーズ (東京都)
「お弁当にGood!」の売上金の一部を活用した寄付型オフセット



SDGs賞

カルネコ株式会社（東京都）
顧客へ納品するPOPをクレジット活用でゼロカーボンへ

活用クレジット

一関市森林クレジット
10t-CO2
宮城県森林公社森林
クレジット
3t-CO2
山形県太陽光クレジット
593t-CO2
岩手県住田町森林
クレジット
10t-CO2
登米市森林クレジット
3t-CO2

2021年度合計
619t-CO2！！

クレジット



クレジット
活用

オフセット活動

POPツールの製造時に排出するCO2を全量カーボン・オフセットして顧客へ提供。



ゼロカーボン
で納品



継続して
発注

オフセット提供先

顧客
環境に負荷をかけないでCO2ゼロでPOPを調達するビジネスモデルに対する『つくる責任、つかう責任（12番目）』と、全国の森林事業者と企業、団体、自治体と消費者をつなぐJ-クレジットの流通プラットフォームEVIの活動に対する『気候変動に具体的な対策を（13番目）』の目標を中心に企業活動と環境貢献活動、地域活性化のサポートを積極的に推進

再エネ賞

横浜中華街発展会協同組合（神奈川県）
横浜中華街春節ランタンの電力再エネ化

活用クレジット

宮城県
一般家庭の太陽光発電
設備導入による
再エネ由来
J-クレジット

7t-CO2



クレジット



クレジット
活用

オフセット活動

横浜中華街春節の ランタン電力

横浜中華街春節は4か月間（11/1～2/28）と長く、初めての試みのため、話題性の高い取り組みとなった。



期間中の
イルミネーションの再エネ化



継続して
行うことで
一般来場者にも再エネへの
意識向上を促す効果

オフセット提供先

横浜中華街2022春節燈花ランタン・イルミネーションの使用電力のカーボン・オフセットし、環境に配慮した街づくりを目指すとともに、その普及活動を行います。



再エネ賞

ハーチ株式会社（東京都）
全オフィスの電力の再エネ化

活用クレジット

宮城県
一般家庭の太陽光発電
設備導入による
再エネ由来
J-クレジット

8t-CO2



クレジット



クレジット
活用



オフセット活動

ハーチ株式会社

2019年度～2020年度の全オフィスの電力使用量を再エネ電力で賄う。（2019年度は一部グリーン電力証書も活用）。自社ビルを所有しておらず、事業所は賃貸ビルのため、クレジットによる再エネ化に取り組みました。

スコア・2020年3月31日現在・クレジット活用



再エネ100
宣言
SBT申請



継続して
再エネ化を
推進



オフセット提供先

全オフィスの電力の再エネ化

再エネクレジットオフセットによる再エネ化を達成したことで、「再エネ100宣言RE Action」への達成申請、またSBTの認定も受けました。また、スタッフの自宅での電力使用についても再エネ化を進めています。



チャレンジ賞

株式会社熊谷工務店（岩手県）
事業活動から排出されるCO₂の一部をオフセット

活用クレジット

三田農林株式会社
間伐促進型プロジェク
ト(岩手県盛岡市)

毎年1t-CO2
合計7t-CO2



三田農林株式会社
Mita No-Rin Co.,Ltd.

クレジット



クレジット
活用



オフセット活動

事業所の
エネルギー使用量

年間の事業活動（電力、燃料（ガソリン、灯油、軽油））に係るCO₂を算定し、そのうちの一部をカーボン・オフセット。取り組みは毎年1トンですが継続することが重要と考え、どうしても削減できない部分に対する取り組みとなっています。

環境経営活動
レポートで
報告



オフセット提供先

自社の環境活動
と
地元の森林育成支援

三田農林㈱からの6年間の購入で苗木約800本、約0.3haの造林が行なわれたと報告を受けています。



東北支援賞 雪ヶ谷化学工業株式会社（東京都）
クレジット活用で見本市「化粧品産業技術展」のCO2ゼロブースへ

活用クレジット

森林・林業日本一の町をめざす住田町の間伐プロジェクト

1t-CO2



クレジット

クレジット活用

オフセット活動

出展ブースにおける

- ・スタッフの移動
- ・会場電力の使用
- ・冷暖房の使用
- ・展示物の入搬出
- ・展示物の廃棄



来場者へ周知

自社の排出量削減

オフセット提供先

自社の展示におけるCO2排出量削減
来場者へのPR

CO2ゼロブースを出展することによって、化粧品業界に対し、CO2削減の方法としてのカーボン・オフセットを啓蒙

OTC JAPAN 2021 化粧品産業技術展ブースを撮影しました



東北支援賞 株式会社光陽社（東京都）
お客様からの印刷の発注が日本の森を守ります！

活用クレジット

一関市市有林における森林吸収量販売プロジェクト
15t-CO2

森林・林業日本一の町をめざす住田町の間伐プロジェクト
31t-CO2

2020/11~
2021/11
で合計46t-CO2

クレジット

クレジット活用

オフセット活動

株式会社光陽社の印刷機

印刷機1台稼働につき100円を原資にカーボン・オフセット

カーボンオフセット事業への参加



無理なく継続できる支援策を提供

継続して活用

オフセット提供先

印刷機発注顧客

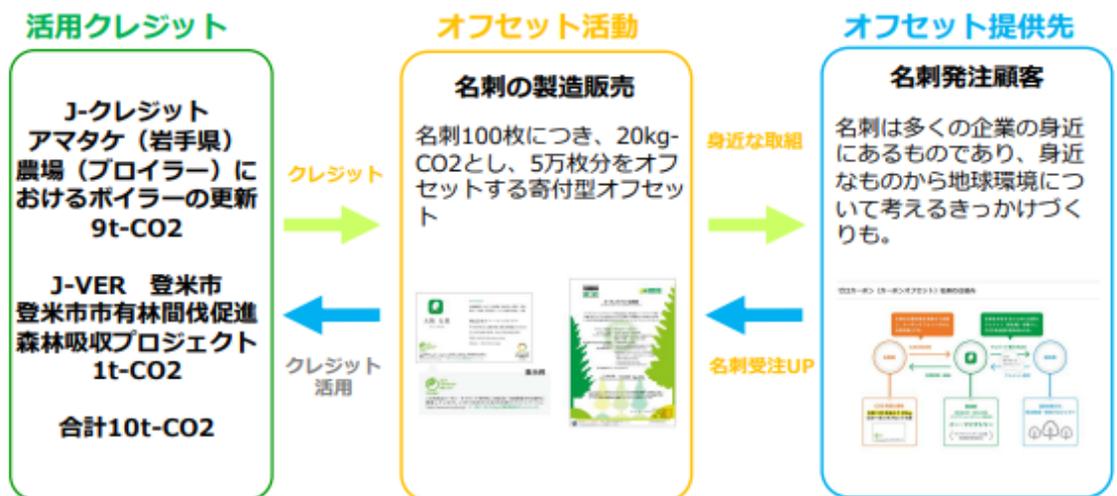
印刷業という業態ならではの環境への配慮と同時に自然環境への配慮を両立。森林吸収クレジットで被災地の森林支援を継続します。



東北支援賞 株式会社Innovation Design (東京都) ショップとレストランの電力をカーボン・オフセット



東北支援賞 株式会社イー・ファクトリー (大阪府) カーボンオフセット名刺の販売



東北支援賞 フェイラージャパン株式会社（東京都） 広報印刷物（カタログ・チラシ・カレンダー）にはじめての カーボン・オフセット

活用クレジット

登米市市有林間伐促進
 森林吸収プロジェクト
 7t-CO2

カタログ：1トン
 カレンダー：5トン
 チラシ：1トン



クレジット



クレジット
 活用



オフセット活動

カタログ・カレン
 ダー・チラシの印刷・
 製本に係るCO2排出量
 をオフセット



販促品に
 東北オフセット
 マークを活用！



製品販売



環境活動に
 賛同



オフセット提供先

消費者

百貨店など国内104店舗
 で販売活動を展開。カタ
 ログ、カレンダーはお客
 様のお手元に置いて繰り
 返し見ていただけるツー
 ルであり、チラシはより
 多くの方に見えていただ
 ける印刷物です。ブラン
 ド力もあるため、カーボ
 ン・オフセットの取り組
 みの訴求には大きな効果
 が期待されます。

